6E-5

アートツーリズムを支援するコミュニティ Web の構築に関する考察

斎藤　一[†]　　西村　誠[†]　　大内　東[‡]

北海道情報大学　情報メディア学部[†]　　北海道大学 大学院情報科学研究科[‡]

1. はじめに

北海道において，野外彫刻等の芸術関連コンテンツと密接に結びついた新しいツーリズム（アートツーリズム）を確立させる動きが始まっている[1]．本研究では，主に野外彫刻写真と地域情報を組み合わせたコミュニティサイトを構築することにより，アートツーリズムに関わる活動を支援する Web サイトの構築について考察を行う．

2. 野外彫刻とアートツーリズム

野外彫刻は，全国各地に点在する生活に密着した貴重な文化財である．しかし，屋外の過酷な環境に設置されているため，風化・損傷が激しく，それらを記録し後世へ伝えることは急務であると考えられる．我々は，アートツーリズを確立するため，まず，この野外彫刻に着目する．

2.1 デジタルアーカイブ

情報技術を用いて，貴重な文化財を半永久的に保存し，同時に公開を可能とする技術として，デジタルアーカイブの技術が発展してきている[2]．北海道大学附属図書館北方資料室では，所蔵の北方古地図の一部をデジタルアーカイブ化し，高精細画像で参照することができる[3]．また，博物館が所蔵する膨大な学術資料をデジタルアーカイブ化し，それを仮想環境中に作られた仮想博物館で展示するためのシステムが開発されている[4]．しかし，野外彫刻は，集約的な情報が存在しないが故にデジタルアーカイブ化が困難であった．

2.2 野外彫刻写真データベース

デジタルアーカイブ化が困難な野外彫刻に対して，我々は，野外彫刻写真家 仲野三郎氏北海道内の野外彫刻 2100 作品(道内に設置されている野外彫刻の実に 95%を占める)に着目し，これらの撮影写真に彫刻名・作者名・展示場所等の情報を付加し，データベースを構築することを，研究の第一段階とした．このデータベースは，普段意識されることの少ない野外彫刻を広く一般の人々に知ってもらうことを目的とている．現在，地域情報と密接に結びついた観光情報を提供する Web サイト「北海道彫刻 Web」の開発を進めている．

3. 北海道彫刻 Web

図１は，北海道彫刻 Web のユースケース図である．現段階のシステムは，ボランティア（札幌彫刻美術館友の会）の協力のもと，彫刻情報の追加，削除，修正を行うユースケースとなっている．

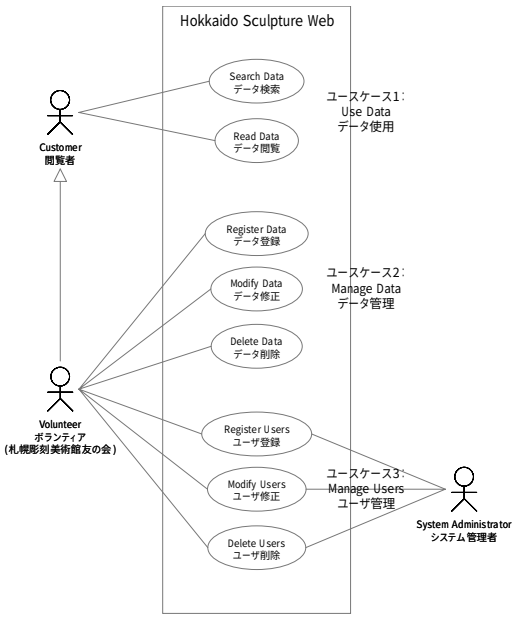

図１　ユースケース図

システムの開発は，Turbolinux 8 Server kernel 2.4.18-5 i686 上で，Apache　1.3.26-7，MySQL 3.23.52-2，php 4.2.3-3，および，XOOPS　2.0.7.3 を利用して開発している．XOOPS

「A Study of Community Web for Art Tourism」

†「Hajime Saito, Makoto Nishimura・Hokkaido Information University」

‡「Azuma Ohuchi・Hokkaido University」

は，PHP 言語を用いたコミュニティサイト構築用オープンソースのソフトウェアである．XOOPS のモジュール（会員管理，掲示板，投票の管理と実施，リンク集の管理，ニュース記事の管理，よくある質問の表示，お問い合せフォーム，広告バナーの表示，RSS インポート表示等）を利用することで，基本的なコミュニケーションサイトを構築することができる．本研究では，これらのモジュールに加えて，野外彫刻写真に関する機能（Hokkaido Sculpture Web (HSW)モジュール）を追加することでシステムを実現している．HSW モジュールは，表１に示す機能を持っている．

表１　HSW モジュールの機能

種類	機能
作者（アーティスト）	作者情報表示 作者写真表示 作者情報編集・更新画面 **作者情報編集** **作者一覧表示**
彫刻	**彫刻情報表示** **彫刻情報画面** 彫刻情報編集・更新画面 **彫刻情報編集**
展示場所	**展示場所情報編集** **展示場所情報一覧** 展示場所情報編集・更新画面
彫刻写真	彫刻写真情報編集・更新画面 **彫刻写真表示** **彫刻写真編集**
その他	トップページ、テキスト検索 各種言語依存定数 言語依存モジュール

図２　彫刻 Web のインタフェース

図２は，北海道彫刻 Web のインタフェース画面の一つである．彫刻名，彫刻のかな名，作者名，などの基本情報が彫刻写真とともに登録・修正・削除ができるようになっている．

4.　アートツーリズム支援への課題

北海道彫刻 Web は，野外彫刻に関する集約的な情報を形成することを目的として，開発をすすめている．現在は，ボランティアの方々の協力を得て，仲野氏の写真を中心にデータベースを作成しているが，今後，野外彫刻の写真を誰でも登録，参照することできるように変更しようとしている．システムの拡張に伴い，以下の点の検討を行っている．

- 投稿情報の信頼性の確保
- 著作に関する取り扱い
- GPS との連携
- 彫刻以外の観光情報の収集
- 地域情報や気象情報との連携

5．まとめと今後の課題

野外彫刻写真の Web データベースシステムを発展させた，北海道彫刻 Web について説明した．北海道彫刻 Web では，オープンソース XOOPS を利用してシステムを開発しており，今後，その機能をまとめたモジュール（HSW モジュール）を公開し，他の地域においても野外彫刻に関する Web サイトを構築できるよう，準備を進めている．また，野外彫刻をはじめ，地域情報と組み合わせたコミュニティサイトを構築する仕組みを提供することで，アートツーリズムに関わる活動を支援できると期待している．そのほか，HSW モジュールにおいて，セキュリティの強化，HSW オリジナルのスタイル作成，RSS（新着彫刻・彫刻写真情報）の提供等を行う予定である．

参考文献

[1] 観光情報学会，http://www.sti-jpn.org/
[2] デジタルアーカイブ推進協議会，http://www.jdaa.gr.jp/
[3] 北海道大学附属図書館北方資料室，http://ambitious.lib.hokudai.ac.jp/hoppodb/detail/
[4] デジタルミュージアム MMMUD，http://www.um.u-tokyo.ac.jp/digital/